

2019年9月18日

一般社団法人 地理情報システム学会

2019年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」 選定結果について

地理情報システム学会では、初等中等教育現場においてGIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な取り組みを実践している教員やグループ※を対象とする表彰制度を2010年度に創設し、今年も事例を募集いたしました。（募集記事のHP掲載：2019年1月25日、募集期間：2019年7月1日から8月30日／主催：一般社団法人地理情報システム学会、後援：国土交通省国土政策局、一般財団法人日本地図センター、一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社、協賛：ESRI ジャパン株式会社）

※初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員以外の方も含まれます。

その結果、8件の応募があり、9月17日に地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下の通り報告いたします。（敬称略）

【国土交通大臣賞：総合的な観点】

- ・横浜市立千秀小学校・田谷の洞窟保存実行委員会

「三次元地理情報を活用した地域環境に関する探究型学習の実践」

【地理情報システム学会賞：GISの効果的な活用の観点】

- ・呉高専 3Dマップ製作チーム

「GISとレーザー加工機で作る3Dマップによる防災授業の小中学校への展開」

【日本地図センター賞：地図の効果的な利用の観点】

- ・石橋 生（桐蔭学園高等学校・東京大学）

「産学官をつなぐ地理総合に向けたGIS教材の利活用」

なお、受賞者は、2019年10月19日（土）～20日（日）に徳島大学（徳島）で開催される第28回地理情報システム学会研究発表大会に於いて開催される企画セッション（10月19日（土）10:20～12:00 <http://www.gisa-japan.org/conferences/index.html>）において表彰式をとり行うとともに、事例発表をしていただく予定です。

当該セッションの参加登録および参加費は不要です。

お誘いあわせの上、是非、ご参集ください。

以上